

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和 6 年度第 1 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会
2. 開 催 日 時	令和 6 年 7 月 1 日(月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市春日町一丁目19番地 松阪市健康センターはるる
4. 出席者氏名	(委員)◎長井雅彦、杉山拓紀、西村充功、津田真、藤本泰史、林三奈、馬場啓子、橋本淳平、廣佳奈子、伊藤倫子、金森久美子、堀康太郎、大西学 (◎会長) (アドバイザー):奥野ゆたか (事務局): 健康づくり課:糸川、田島、西口、大西、橋本、梶間、加藤、辻原、山岡 こども家庭センター:鈴木、白木 こども未来課:加藤、中西 学校教育課:三田、竹内、奥野 高齢者支援課:世古
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍 聴 者 数	1 名
7. 担 当	松阪市健康福祉部健康づくり課 TEL 0598-31-1212 FAX 0598-26-0201 e-mail ken.div@city.matsusaka.mie.jp

事項

1. あいさつ、
2. 委員自己紹介
3. 協議事項
 - (1) 令和5年度歯科保健事業報告について
 - (2) 令和5年度フツ化洗口事業実施報告について
 - (3) 令和6年度歯科保健事業計画について

4. その他

議事録 別紙

松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会 議事録

会議名： 令和6年度 第1回 松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会

日時： 令和6年7月1日（月） 13:30～15:00

場所： 松阪市健康センターはるる3階 健康増進室

会議形態： 会場出席

出席者： 【委員】（順不同、敬称略）

松阪地区歯科医師会 長井雅彦（会長）、松阪地区歯科医師会 杉山拓紀、
松阪地区歯科医師会 西村充功、松阪地区歯科医師会 津田真、
松阪地区薬剤師会 藤本泰史、三重県歯科衛生士会松阪支部 林三奈、
三重県地域活動栄養士連絡協議会松阪支部 馬場啓子、
松阪市教職員組合 橋本淳平、松阪市学校保健会 廣佳奈子、
松阪認可保育園連盟 金森久美子、松阪保健所 堀康太郎、
松阪市立幼稚園・保育園・こども園園長会 伊藤倫子、
松阪市保険健康担当理事 大西学

【アドバイザー】

三重県医療保健部健康推進課主任 奥野ゆたか

【事務局】

（健康づくり課） 健康づくり担当参事兼健康づくり課長 糸川千久佐
保健師統括担当監 田島栄子、課長補佐 西口裕登
保健予防担当主幹 大西郁子、保健予防担当主幹 橋本嘉寿子
保健予防担当主幹 梶間望、保健予防係係長 加藤裕子
保健予防係主任 辻原幸枝、同係 山岡美雅子
（こども家庭センター）こども家庭センター統括支援担当監 鈴木智美
母子保健担当主幹 白木智子
（学校教育課） 課長 三田篤、指導主事 奥野一茂、指導主事 竹内伸吾
（こども未来課） 課長 加藤知孝、保育幼稚園係主任 中西なつき
（高齢者支援課） 地域包括支援担当主幹 世古章子

【傍聴】 1名

事項：

1. あいさつ
2. 委員自己紹介
3. 協議事項
 - (1) 令和5年度歯科保健事業実施報告について
 - (2) 令和5年度フッ化物洗口事業実施報告について
 - (3) 令和6年度歯科保健事業計画について
4. その他

〔議事録〕

○事務局

令和6年度第1回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会を開催します。

○会長

それでは事項書に沿って進めていきます。

協議事項「令和5年度歯科保健事業報告について」事務局から説明をお願いします。

○事務局

【松阪市健康づくり課、こども未来課、学校教育課、高齢者支援課より、令和5年度歯科保健事業報告】

○会長

それではただいまの報告について、何かご意見、ご質問はありますか。

○委員

人間の一生を通じた歯科保健の啓発と予防について、幼稚園から中学校までフッ化物洗口という形で経済的な公衆衛生、口腔内の形態的な予防という対策を進めています。むし歯から成人の歯槽膿漏、高齢者のフレイルまでの2大疾患を防ぐことが重要であり、小学校の高学年から中学校時代に歯肉炎の予防として歯磨きを行うことを推奨しています。めざすは中学校の歯磨き実施率100%で、現在は11校中1校。これを歯科医師会と一緒に達成したいと考えており、コロナ禍でも実施を続けている学校の取り組みに学びたいので、学校名や取り組みについてわかりましたら教えていただけませんか。

○事務局

中学校の歯磨き実施が低い理由として手洗い場が少ないなど施設面の課題があります。全校で歯みがきに継続して取り組んでいる飯南中学校に特別な取り組みはありません。希望者が歯みがきを実施している学校もありますが、保健の授業で歯磨きについて、虫歯だけでなく口腔の病気などについても教えるなど、松阪市では長年取り組み、歯科衛生士会と連携してフッ化物洗口事業の説明の際に歯磨きの重要性も含めて児童の意識向上を図っています。しかし、全ての学校での実施は難しく、改善の余地があるように思います。

○委員

飯南中学校のように歯磨きを実践している学校が増えることを願っています。また、保育園や幼稚園から始めて小学校でも取り組む必要があると感じており、5～6月に全国で同時に行われる歯磨き大会に、実際に担当している小学校での参加申込みをしたが落選、来年再挑戦する予定です。この取り組みは、学校や学校歯科医も取り組むことで、地域の人々と交流しながら行える取り組みで、子どもたちは楽しみながら参加しています。

中学校や小学校でのフッ化物使用と同時に歯磨き指導にも力を入れたいと思います。

○会長

楽しみながら物事を進めることが最善だと考えており、そのように取り組んでいきたいと考えています。

続いて協議事項（2）「令和5年度フッ化物洗口事業実施報告について」事務局から説明をお願い

いします。

○事務局

【松阪市こども未来課、学校教育課、健康づくり課、高齢者支援課より令和5年度フッ化物洗口事業報告】

○会長

それではただいまの報告について、何かご意見、ご質問はありますか。

○委員

フッ化物洗口を受けていない児童学童が一定数存在し、それは非常にもったいないと考えています。アレルギーによる問題はないため、アレルギーなどの心配は不要です。また、飲み込んでしまう子どもがいるため、水うがいも正しい取り組みだと思います。なぜ飲み込むのかを考える必要も感じています。コロナ禍のマスクの下で口呼吸が増え、口腔機能の低下が見られます。松阪市はフッ化物洗口を県下でも先進的で広がっている中、その恩恵を受けずに大人になる子ども達がいる現状を改善し、恩恵を受けられる子ども達の比率を高めたいと考えています。そして、フッ化物洗口の普及率が上がれば、その後の評価時期が近づいていると思います。

松阪市では外国籍の方々が増えており、虫歯が多い状況が見受けられます。給食、食事に難しさを感じる子もいます。松阪市としては、むし歯の評価指標であるDMFTが下がっている数値だけにとらわれず、むし歯が増える背景や原因を見つめ、対策を考えることが重要であり、それが松阪市や関係者、学校の力になると考えています。

○会長

DMFTの説明をお願いします。

○委員

DMFTは子供の虫歯の評価を示す全国的な指標で、Dは掘れた虫歯(decayed)、Mは抜歯や事故による欠損(missing)、Fは過去の虫歯が詰められている状態(filled)を表しています。この数値は各市町行政や学校の養護教諭により理解され、その地域や学校の保健の程度を評価する指標として用いられています。

○会長

DMFT という虫歯評価指数は世界的に地域の健康状態を判断する指標とされています。松阪市でも今後この指標を用いて地域の健康状態を明示してはどうか、その結果、松阪市が健康状態で改善しているかが具体的に分かるようになり、これを継続的に行うことを提案されています。ぜひ今後活用していただきたいと思います。

続いて協議事項（３）「令和6年度の歯科保健事業計画について」事務局から説明をお願いします。

○事務局

【松阪市健康づくり課、（障がい福祉課分代読）、こども家庭センター、こども未来課、学校教育課、高齢者支援課より令和6年度の歯科保健事業計画】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありますか。

○委員

松阪市では歯周病検診の対象者を0歳から70歳まで増やし、市独自の5歳刻みとし対象が増えていきます。その結果、令和5年度の検診を受けた人の割合が大幅に増加しました。令和4年度の低率はコロナの影響だけだったのでしょうか。

○会長

令和5年度から、受診券をがん検診と別にして発送されています。

○委員

歯周病検診の対象年齢を5歳刻みで実施していく方針を説明されました。また、全国初となる「市民皆歯科健診」を岐阜県的美濃加茂市が実施し、20歳から70歳まで歯周病検診を行っており、その受診率が6%程度であることを示した資料も配布しました。歯科医師会だけでなく、行政からも美濃加茂市に聞いたり、他市の事例を参考にしながら分析していきたいと考えています。

○会長

国の動向に先駆けて、「国民皆歯科健診」を実施しようとしている美濃加茂市の積極的な姿勢を説明しました。この施策の結果がどうなるか、また課題点は何かまだ明らかではありませんが、今後も美濃加茂市と連携を取り、行政にも進展状況を伝えていく予定ですが、行政でも連絡を取っていただけるとありがたいと思います。

○委員

前年度のフッ化物洗口事業を聴かせていただきました。その様々な準備により、スムーズに進行したことに感謝しています。引き続きその経験を生かし、新規校への対応も含めて進めたいと思います。また、中学生という思春期対応も考慮し、それに対応するよう努めます。これからもよろしくお願いいたします。

○委員

令和6年度の取り組みに関して、高齢者向けのフレイル対策や口腔機能向上など具体的な策が述べられていましたが、乳幼児や児童における口腔機能の発達不足が問題となっていて、今後こちらへの介入が重要となる可能性があります。2018年に新しく病名として取り入れられた口腔機能発達不全症に対する対策も盛り込まれていなかったもので、具体策については、相談させていただき、取り組んでいただきたいと思います。

○会長

現在、鼻呼吸ができず口呼吸の子どもが増え、それが体に悪影響を及ぼしていることが問題となっています。どのようにこれを指導していくべきかは未だ検討中で、行政と協力して解決策を考えることを希望します。

○委員

ベビーの時代から問題があることがデータから明らかになっており、これに対する対策も視野に入れたと考えています。また、糖尿病治療に関しては、内科医と歯医者との連携を推奨し、歯

槽膿漏の進行を防ぐ方策を講じています。これに伴い、内科医の内服指示だけでなく、全体の健康管理を考慮した保険の枠組みを変更しました。さらに、国も医科歯科の連携を通じて、生活習慣病に対する早期防止や進行防止策を進めていると感じています。松阪市も、節目健診を5年にいただいたのが本当によかったと思っておりますが、2年に1回くらいの節目健診になっていくのかと思います。

○委員

フッ化物洗口が順調に進み素晴らしいが、管理栄養士として、乳幼児のお菓子の間食習慣やバランスの悪い食事内容が気になります。保護者さんには間食での栄養摂取をしてほしいと思います。また、食事内容が個別化し、バランスの良い家庭とそうでない家庭が分かれてきているため、栄養の大切さを理解してもらうための啓発が必要です。さらに、現在の食事は噛む回数が減り、それが唾液量の減少を引き起こしており、この点も考慮し、噛むことの重要性和栄養バランスを含めた食生活の連携を強調し、健康づくりを進めていきたいと思います。

○会長

地域の子どもたちの成長に対して、様々な職種が連携することが大切であり、引き続きの協力をお願いします。県の健康づくりの状況についてはどうでしょうか。

○アドバイザー

松阪市も第二次「松阪市歯と口腔の健康づくり基本計画」を策定していますが、三重県も国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を参考に、第三次「歯と口腔の健康づくり基本計画」を策定しています。また、県内でフッ化物洗口を始める小学校が増えており、取り組みを進めるのに松阪市が参考にされています。地域口腔ケアステーションの取り組みも他地域に広がりつつあり、これらの取り組みに県としては感謝の念を示しています。

人生全体を視野に入れたライフコースアプローチが健康づくりに重要であり、これは妊婦から高齢者までを網羅します。歯科医はこれを実行でき、予防歯科に重きを置くことが重要です。このアプローチに基づき松阪市では多くの事業が展開され、市民にその利用が推奨されています。また、口腔機能の獲得と維持、向上は食事と栄養との連携、家庭ごとの食事内容の考慮が必要で、それらが不十分だと子供の口腔機能がうまく獲得できないという問題が考えられ、乳幼児の健康管理に関わる全ての関係者が連携していくことが課題解決には必要です。

松阪市は、いつも先進的な取り組みが多いので、ぜひ新しい松阪モデルを作っていただいて、全市町に広げていただけると大変ありがたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

○委員

石川県の白山市では、成人の特定健診でヘモグロビンA1Cの高値が見つかった人を歯周病検診につなぐようなシステムを構築し、その結果良い成果が出ているようであり、参考できたらと思います。

○会長

石川県白山市のシステムについても歯科医師会で精査したいと思いますので、行政の方でもよろしくをお願いします。

他にございませんでしょうか。ないようでしたら、本日の協議を終えたいと思いますので事務局の方へお返ししたいと思います。

○事務局

長井会長、皆さま、本日はありがとうございました。

今日の意見や提案を基に、市は口腔の健康促進に努めます。次回の推進協議会は令和7年の1月から2月頃を予定しており、詳細は書面でお知らせします。引き続き皆様のご協力をお願いします。

それではこれもちまして、令和6年度第1回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。